

地域高規格道路 長崎南北幹線道路
(長崎市茂里町～西彼杵郡時津町野田郷)
ルート選定に関する

提 言 書

令和2年3月30日

長崎南北幹線道路ルート選定委員会

長崎南北幹線道路ルート選定委員会において、未整備区間の長崎市茂里町から西彼杵郡時津町野田郷について概ねのルートを検討した結果、以下のように提言する。

1. ルート選定

概ねのルート（一定の幅を持ったルート帯）については、既成市街地への影響、施工性、経済性などを総合的に評価し、市街地の西側を通過する下記ルートが最適であると選定した。

(1) A区間（茂里町～大橋付近）

- ・浦上川の左岸（公園側）を通るルート

(2) B区間（大橋付近～滑石付近）

- ・市街地と山地の中間付近を通るルート

(3) C区間（滑石付近～時津町野田郷）

- ・滑石地区のインターチェンジと（仮称）時津インターチェンジを最短で結ぶルート

2. インターチェンジの位置

インターチェンジは、起点（長崎市茂里町）と終点（西彼杵道路の（仮称）時津インターチェンジ）のほか、滑石地区に設ける。

3. ルート選定における基本方針及び前提条件

ルート選定においては、基本方針及び前提条件を以下のとおりとした。

【基本方針】

- ・支障家屋をできる限り少なくすることや、地域コミュニティの維持に配慮するなど、市街地への影響をできる限り低減する。
(コントロールポイントとして、歴史的・文化的な価値があるものや、特に影響が大きい不特定多数が利用する学校・総合病院などを回避する。)

【前提条件】

- ・地域高規格道路としての機能を確保する。(自動車専用道路、設計速度 60km/h 以上)
- ・車線数は2車線とする。

4. 配慮を求める事項

今後、具体的な検討を進めるにあたり、以下の事項について配慮を求める。

- (1) A区間（茂里町～大橋付近）においては、複数の公園施設への影響が懸念されるため、施設や利用者への影響を極力抑えられるよう、構造や工法等の技術的な検討を行っていただきたい。
- (2) 長崎南北幹線道路は、高度な機能を持つ医療施設へのアクセス向上にも大きく寄与することから、救急搬送の時間短縮が可能となるようなインターチェンジの計画としていただきたい。
- (3) 地域の方々との意見交換会において出された意見や要望などに十分配慮していただきたい。
- (4) 長崎南北幹線道路は、西彼杵道路も含め長崎市と佐世保市を結ぶ重要な道路であるため、可能な限り早期に事業が進むよう、しっかりと取り組んでいただきたい。

5. 委員会の開催状況

(1) 第1回

- ・ 日時：令和元年9月27日（金曜日）
- ・ 議事：①委員会の設立
 - ②委員長の選出
 - ③長崎南北幹線道路の概要、必要性と整備効果
 - ④ルート of 1次選定（基本方針、ルート案の比較検討）

(2) 第2回

- ・ 日時：令和元年11月18日（月曜日）
- ・ 議事：①前回のまとめと意見への対応
 - ②ルート検討の前提条件
 - ③ルート of 2次選定（ルート案の比較検討）
 - ④地域住民との意見交換会

(3) 第3回

- ・ 日時：令和2年3月17日（火曜日）
- ・ 議事：①前回のまとめ、委員からの意見への対応
 - ②地域住民との意見交換会の結果と対応
 - ③ルート of 2次選定（A区間）
 - ④ルート全体のとりまとめ

6. 委員名簿

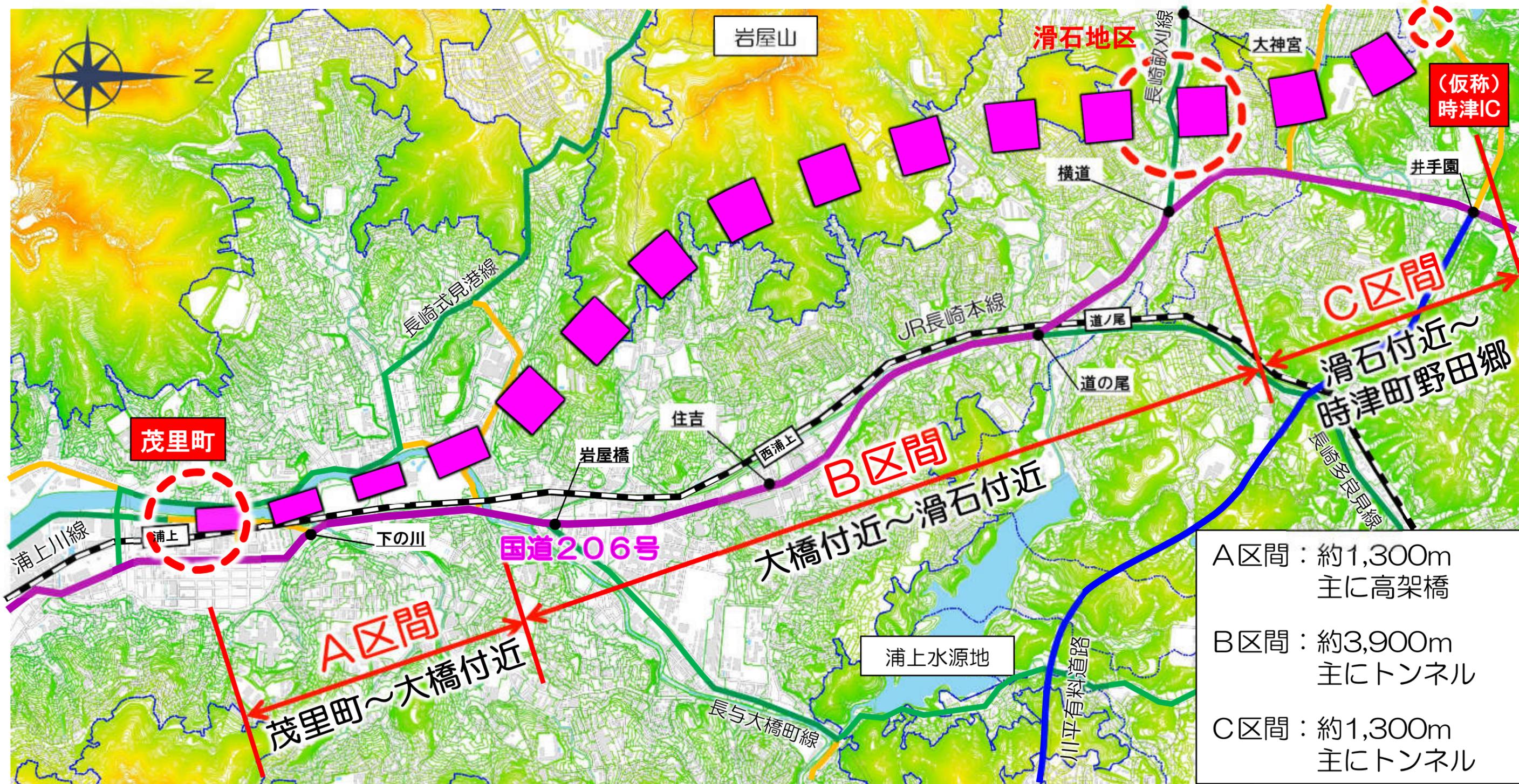
【敬称略】

分野	所属等	役職	氏名
学識経験者	長崎大学大学院工学研究科	教授	中村 聖三
学識経験者	長崎大学大学院 水産・環境科学総合研究科	准教授	吉田 護
商工・経済	長崎商工会議所	専務理事	松永 安市
商工・経済	長崎経済同友会	事務局長	中村 政博
商工・経済	西そのぎ商工会	会長	川口 義己
運輸・交通	長崎県トラック協会長崎支部	支部長	井石 八千代
運輸・交通	(一社)長崎市タクシー協会	専務理事	船家 和之
運輸・交通	(一社)長崎県バス協会	専務理事	峯 比呂志
観光	(一社)長崎国際観光 コンベンション協会	専務理事	浦瀬 徹
救急医療	長崎県医師会	常任理事	瀬戸 牧子

※

※委員長

平面図（選定ルート帯）



A 区間：浦上川の左岸（公園側）を通るルート

B 区間：市街地と山地の中間付近を通るルート

C 区間：滑石地区のインターチェンジと（仮称）時津インターチェンジを最短で結ぶルート